

承認/1991年3月8日
例会日/火曜日・PM6:30
例会場/名古屋マリオットアソシアホテル

事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号
名古屋マリオットアソシアホテル2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

会長/小野 雅之
幹事/木下 福郎
会報・雑誌・広報委員長/
朝比美和子



2009-2010

WEEKLY REPORT

2009-2010年 RI会長 ジョン・ケニー

URL <http://www.meinan-rotary.com>

E-mail info@meinan-rotary.com

ガバナー公式訪問日(2RC 合同例会)

第 878 回

2009年9月30日(水) 雨 第11回
～ 新世代のための月間 ～

斉唱 君が代 それでこそロータリー
出席 会員 70名 (出席率算入人数 66名)
出席 56名 出席率 84.85%
前々回補填率 98.48% (9月8日分)
ゲスト
RI 第2760地区 ガバナー 大澤 輝秀さん
RI 第2760地区 地区幹事 岩瀬淳一郎さん

会長あいさつ

■名古屋東南 RC 会長 近藤 信之さん

今日はガバナー公式訪問で名南 RCと合同例会になりました。東南がホストをやるようにご指示を頂きましたので、誠に僣越ですが、両クラブを代表しまして会長あいさつをさせていただきます。



ガバナーから事前に卓話についての書類をいただいております。それに関してクラブの取り組みの話をしたと思います。その1「職業奉仕への取り組みを強調する」これに関しては、計画書を組む時点で職業奉仕の例会の時間を多く設けまして、皆さんに啓蒙しモチベーションを高めるよう努力しております。

その2「識字率向上とロータリアンの識IT率の向上を」当クラブでもできるだけパソコンで配信したり、インターネットを利用して印刷物を少なくすることに取り組んでおります。

最後に「ノーネクタイのススメ」これに関しましては、先の例会でも皆さんにご案内いたしました。ただ、色々な都合で外すことの出来ない方もお見えになりますので、これは各自の自由を尊重するということでご容赦いただきたいと思います。形は不揃いではございますが、ロータリアンとしての精神は統一されているものと思っております。今日はガバナーの卓話、またはお教をいただきまして、その辺りもう一度再確認させていただきたいと思っております。ご教授の程宜しくお願い申し上げまして会長のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告

幹事 木下 福郎さん

1. 中RCから創立40周年記念コンサート「加山雄三とワイルドワンズ」の講演チケットを10枚いただいております。10月20日(火)の夜6時半～です。10月20日(火)は秋の家族会で24日(土)に振替になっておりますので、ご希望の方は事務局まで。10名以上の場合は抽選です。
2. 次回の理事会は10月6日(火)です。理事・役員・委員長の方はお忘れのないようご出席ください。

ニコボックス

- ◆今日はガバナー公式訪問です。国際ロータリー第2760地区ガバナー大澤輝秀氏をお迎えして名古屋東南ロータリークラブホストの2RC合同例会です。

山崎 淳さん	白銀 義昭さん	黒田 康正さん
加藤 英敏さん	江上 隆夫さん	中村 勝さん
新原 尚さん	林 正人さん	柴田 照子さん
杉山 隆秀さん	田中 一雄さん	出田真太郎さん
山本 誠一さん	坂田 信子さん	水野 俊男さん
安藤 鏝一さん	久米 伸治さん	鈴井 一博さん
榊原 和美さん	牧野 好弘さん	猪村 美之さん
入谷 直行さん	宮澤 伸光さん	堀田 光江さん
伊藤 圭一さん	東山 直史さん	生野 房江さん
坂本 晃さん	三浦 隆さん	朝比美和子さん
平沼 里子さん	浅井 浩さん	有川 英敏さん
杉本 勇さん	児島 徳和さん	木村 猛さん
武藤 正行さん	山本 郁矢さん	大隅 紀郎さん
川辺 清次さん	佐々木元彦さん	小澤 久隼さん
三浦 和人さん	大橋さなえさん	森田敏二三さん
佐々木 眞さん	中西 芳子さん	宮崎 良一さん
吉木 邦男さん	加藤 宜之さん	江村 雅夫さん
犬飼りさ枝さん	小山 慎介さん	太田 敦士さん

本日合計 54,000円 累計 618,000円

第 880 回例会 (10月13日) のご案内

会員卓話

入谷 直行さん 山本 郁矢さん

■ RI 第2760地区 ガバナー 大澤 輝秀さん

皆さま、こんにちは。

まず始めにノーネクタイについてお話ししておきたいと思います。私がノーネクタイを勧めるのには3つ理由があります。1つ目はCO₂です。日本は鳩山内閣が25%の削減目標を掲げました。ノーネクタイにすると体感温度として2℃下がることは常識です。そこで少なくともロータリアンが地球環境に配慮するのは良いことではないかというのがあります。2つ目に大きな理由として、ジョン・ケニー会長が会員増強には出来る限り若い会員を薦めるよう言っています。自分がロータリーに入った時の経験を少しお話しますと、三十数年前、私は工場勤めで作業着で仕事をしており、例会の為にネクタイを締めて背広に替えて行くことをしていたらロータリーが嫌になってしまうというのが私の心境でしたので、ロータリーには作業着で行っていました。ところが、出席免除会員になって以来、久しぶりに例会に出ると、私より少し先輩のロータリアンが若い会員を捕まえて「お前は何だ。ネクタイも締めずに例会に出て。」と言って難詰していました。言われた若者は困っているという場面を見て、ロータリーはなんでこんなことになってしまったのかと思いました。私はロータリーは特別な人の集まりだと思わないようにしています。確かにプライドは大事です。しかし、特別な人たちだけが集まる例会をやっていくんだという発想があったら、これからは発展できないと思っています。3つ目に私はガバナーを引き受けるにあたり、改めてロータリーの勉強を始めました。そうしたら、佐藤千壽さんという日本のロータリーの字引のような方の本の中に、「迷信5つ」が書いてあり、1番目に「ロータリーの例会はネクタイを締めて出なければならない。」とありました。ぜひこれを読んでください。しかし、特別な人の会合ではないと言ったものの、よくよく考えてみたら、皆さんのネクタイというのは仕事着です。ノーネクタイではお客様に会うのに失礼だということからユニホームのごとく背広にネクタイで来ておられるわけですから、そうしてこの昼の例会に出られるのは問題ないと思います。ただ名南RCは夜間例会ですからひよっとするとネクタイをはずしてやってくる人がこれからは増えてもらえるのではないかと、こんなことを期待しております。

さて、ガバナーの務めというのは色々あります。まず、私がガバナーとしての資格を得る為に1月18日～25日までやったものがこのパワーポイントに入っております。パワーポイントがガバナーが使うというのは公式訪問等で例えば2760地区では初めてだと言われますが、これは実は意図してやっております。まず、第1の報告は私が仕事を始めたのは7月1日、それ以前に色々な準備をやらせていただきました。7月1日、2日にガバナー会というのが東京であり、ガバナーになる心構えを34地区のガバナーが集まって話を聞いたわけですが、そこで今回新しくRIの理事になられた黒田正宏さんが、「私は夕べ、ロータリーのミーティングから帰ってきました。そ



こで聞いた生々しい話を皆さんにお伝えしたいと思っています」ということで、ジョン・ケニー会長から「理事の皆さんはロータリー研究会にしろ世界中を飛び回って経費その他をお使いになるわけですが、大変現在厳しい経済情勢にあります。そういった中でRIは理事あるいは地区から出られる方にお一人分は旅費・経費を支給させていただきます」と話があり、黒田さんの通訳の方は支給しますが、理事はぜひ自腹でお願いしますと言われたという話をしていました。それくらい世界的な経済情勢を今ロータリーも受けているんだということです。このことを説明しますと、財団に我々はお金を出しています。例えば財団にポリオ・プラス、財団年次寄付、財団ではないですが米山奨学会等です。これは色々な形で運用されます。ポリオ・プラスと米山奨学会は国債で運用するという規定で縛られているからこちらは問題ない。ところが年次寄付は、3年間運用した後に戻ってくるわけです。これは国際投信で運用されています。そんなわけで大変経済情勢が厳しいということは今後のロータリーの運営にも影響が出てくるということをお知らせしておきたいと思っております。

次に、国際協議会では、ジョン・ケニー会長が今年度のテーマ「ロータリーの未来はあなたの手の中に」を発表しました。地区目標は大事ですが、地区のテーマを作りかえて色々な事をやらないようにわざわざ言われましたので、私は忠実にジョン・ケニー会長のテーマを進めておるのが現状であります。強調事項が、まず「水保全」。世界中見渡しますと200カ国を超えるロータリーを持つ国々があって、水をそのまま飲めない国がたくさんあります。これが我々の世界社会奉仕の背景です。次に、「保健と飢餓救済」です。貧乏から抜け出す為にロータリーが色々な貢献をしており、病気にならない為のポリオ・プラスなどはその最大のものかと思えます。しかし、これはすべて対処療法になってしまうわけですから、恒久的な発想で言うと、次の「識字率」というのがあります。恵まれない人たちに教育を与えることによって、彼らに自立の道を作っていくてもらうというものです。

私は日本でいうと識字率はともかく、識IT率は高めようがあると思ひまして、私どものサブ目標に「識IT率の向上」を入れました。パソコンを始めると分からないことがたくさん出てきます。それを若い人から教えてもらうという経験を積んで、若い人とコミュニケーションを持ち、ぜひ活力を得ていただきたい。そして、ガバナー月信7月号53頁に個人配信登録方法が載っていますので、ぜひ登録してみてください。

話は戻りますが、国際協議会の1月21日の朝、突如「プログラムを変更します。ビル・ゲイツ氏が来たので、彼にスピーチをしてもらいます。」ということで、ビル・ゲイツ氏が1時間ポリオ・プラスの話をしました。その中で大変印象に残ったことがあります。彼は53歳になるそうですが、それにちなんで、「1953年というのはアメリカで最後のポリオが発生した年で、それを境にポリオがなくなりました。今世界が最後の戦いをしているのです。あと4カ国（インド・パキスタン・アフガニスタン・ナイジェリア）をなんらかの形でやっ払いこうという

のがポリオ撲滅の話であります。そこで、私が今回さらに1億500万ドルのお金を出します。ロータリーの皆さんには更なる1億ドルのマッチングをお願いしたい。」合わせて2億5千500万ドル出すビル・ゲイツ氏にロータリーはプラス1億ドルを足して2億ドルを出そうという話になって、彼のスピーチが終わった時には大歓声が起こり、世界的に賛成を得ました。結論から言いますと、私どもの地区ではとりえず経済情勢も踏まえ、節約をする方策を考えなければということ、ガバナー事務所と財団とでなんとかひねり出そうという予定であります。彼が入ったことで、広報は大きな効果を挙げています。ロータリーの方では近いうちに1億ドル達成の報告があると思います。今後また更に1億ドルということになるのですが、こういうふうには効果がでています。

さて、もう一つテーマ「職業奉仕はロータリーの基本です」というのをお願いしたわけです。このことと「ロータリーの未来はあなたの手の中に」というのをもちりまして、「日本のロータリーの未来は皆さんの手の中に」となります。会員増強は、ロータリーの例会を楽しくすることが一番基本だろうと思っておりますので、その例会を楽しくすることをぜひ皆さんに配慮していただきたい。そのためには親睦と例会を両輪のようにうまく回して、やっていただきたい。今日実は東南RCの伊藤さんが働いて会員を増やし、そのために色々な智恵を出して、家族会を重視していますという話を聞きました。そういう智恵を出していかないと、退会者が出て、ロータリーはつまらないのではないかと話になってしまふ。こんな素晴らしい人たちが集まった中で自分の仲間を作って、色々なことが見えてきて、勉強にもなって、さらにロータリーの原点でありますポールハリスも始めは職業奉仕でスタートしたわけで、そういったことだけでもプラスになるということでぜひ若手の人に入会してもらおう為に冒頭に申し上げましたノーネクタイということをお願いしております。

さて、私は自分の職業奉仕の一つに、私どもの会社にあったバスケットボールチームをプロ化しております。東三河と浜松との県境を挟んだ所でプロをスタートさせております。今の若い人たちを見ていると本当に内向きになってしまっている。この内向きさは私にとって心配の種です。世界を知ること、日本がいくら安全で住み良い所だからといってそこへ籠ってしまつては、日本の経済は悪くなる一方です。そういった全体を眺めたときに、何がおかしくなったかという、日本というのとはとも心ある人たちは必ず武者修行をやったわけですから。ずっと昔から見聞を広げることやってきました。そういったことを抜きに日本だけを良くするなんて智恵は出てきません。だから私は若い人たちにもっと外へ出て行けと思うのはそこなんです。私自身、自分に置き換えてみますと、今こうしてガバナーの務めをしていますが、若い時にそういう経験をしなかったら、私は多分ここに立って皆さんの前でこんな話もしてないだろうと思うのです。ですからこれはぜひ皆さんの周りの人、あるいは自分の子弟、孫、そういった方々にぜひ実行してほしいと思います。

また、職業奉仕については地区大会ですばらしいスピーカーを呼んできてやりたいと思っております。

これは本会議で会ったサブーさんの話ですが、大変すばらしい話をしてくださいました。他にもう一つ私の方でRI会長代理をこうしてくれとは言えなくて、北清治さんを皆さんの地区大会に選びました。浦和の方です。中部地区では結構知られております。次に職業奉仕の関連で、医者で博多のロータリアンの広畑さんにお話をさせていただきます。そして次は地区研修リーダーの斉藤直美さんであります。

最後になりましたが、ロータリーのリーダーシップについてこうしたらいいという話を聞きましたのでお話しします。通常のリーダーシップというのは三角形のトップに立って、皆さんに色々な話を上からし、引っ張っていくというものです。ただロータリーではこの方式はうまく行かないのです。うまくいく方法とは、ホリゾンタルリーダーシップ、要するに並列的ということです。ここにおられる方というのは皆さんがリーダーなんです。会社に帰れば社長でみんなを引っ張っています。その会社での引っ張り方はパーティカルもありましょうし、このホリゾンタルとの併用というのも有るかもしれません。ロータリーはそういった方々の集まりですから、単年度の会長、幹事が引っ張っても無理があります。そこでこの方式は新幹線例えられます。過去の列車というのは蒸気機関車にしる、ディーゼルにしるみんな頭でひっぱってきた。ところが、新幹線は16両の車両に一台一台にモーターが付いており、そのモーター全部をうまく機能させて16両の力を結集して350kmを越えるスピードを出している。ですからロータリーのリーダーは新幹線のようなリーダーシップを発揮してくださいという話で、大変印象に残っております。ぜひご参考にしていただきたいと思っております。

ご清聴ありがとうございました。

お礼あいさつ

会長 小野 雅之さん

大澤ガバナー、岩瀬幹事、東南・名南の合同例会に訪問していただき誠にありがとうございました。また、東南RCにはホストをしていただきましてありがとうございました。心から感謝申し上げます。



先程例会の前に懇談会がありまして、その時に大澤ガバナーから素敵な名刺をいただきました。奥様と一緒に写っている名刺なのですが、非常に感動しました。大切にしたいと思えます。我々がこうしてロータリー活動ができるのもそれぞれの配偶者のご理解があつてのことだと思えます。この名刺を見ますと、配偶者にもう少し優しさをもって接しなければいけないなと思えました。この後、また大澤ガバナーに続きこういう名刺を作っていただけの方が出られることを願ってお礼の言葉とさせていただきます。今日はありがとうございました。